

# 令和5年度 藤枝市立稲葉小学校グランドデザイン

藤枝の教育 豊かな学びで 笑顔をつなぐ

藤枝中学校区小中一貫教育キャッチフレーズ 「はばたけ！ふるさとの誇りを担う子どもたち」

育てたい子ども像

○ふるさとを大切に思う子ども ○自分で考え行動する子ども ○笑顔であいさつができる子ども ○誰にでも優しくかかわる子ども

藤枝中学校教育目標 「自律・探究・協調」

学校教育目標

**い**っしょうけんめい（自立） **な**かよく（協調） **ね**ばりよく（探究）

重点目標

自分を大事に 人を大事に 稲葉を大事に

小中一貫教育につなげる『稲葉でめざす姿』

- 自分を高めるために一生懸命取り組む、粘り強くやりぬく稲葉の子
- 人に思いやりをもって接する、優しく接する稲葉の子
- ふるさと「稲葉」を知り、ふるさと「稲葉」を語る稲葉の子

自分を大事に 人を大事に 稲葉を大事に

学校経営の柱 連携してつなぐ「3つのつくる」 学びで地域とつなぐ「ふるさと学習」 確かな学校基盤で安心・安全な学校

心をつくる(生徒指導)

- 自分を高めようとする心を育む。(自分を大事に)
- 稲葉プライドの定着と進化。
  - ・笑顔で進んであいさつ「ふ・じ・え・だ」
  - ・だまってそうじ「だ・い・す・き」
- 認め合いのピア・サポートでウェル・ビーイング。
- 道徳教育の充実。

- 人を思いやる心を育む。(人を大事に)
  - ・廊下の右側を静かに歩く。
- 居場所づくりと絆づくり
  - ・集団での自分の役割がわかる。
  - ・友達や異学年とのつながりを実感できる。

学びをつくる(研修)

- 自分ごととして学ぶ授業づくりで学級づくり、人づくり。
  - ・育てたい資質能力を明確にし、子供と共有。
  - ・子供の思考過程を生かした授業構想。
- 相手を意識して「話す・聴く」(自分を大事に 人を大事に)「研修の柱」子供が話したくなる・聴きたくなる学習問題とつなぐ力の整合性
- 道徳教育の充実。(自分を大事に 人を大事にの基盤)
  - ・道徳の授業づくりを教科授業づくりにつなげる。

つなぐ

連携

つながりをつくる(特活)

- まんざらでもない自分に気づく(自分を大事に)
  - ・自治的活動で自分づくり、学級づくり、学校づくり。
- 縦割り活動の充実で思いやりの心を育む。(人を大事に)
  - ・ピア・サポート実践の場として。
  - ・低学年を思いやり、高学年を尊敬する「あこがれの連鎖」。
  - ・縦割り班を積極的に活用した活動。
  - くすのき活動、くすのきおそうじ、各行事。
- 生徒指導と連携し、稲葉プライドを子供の手で作り上げる。

稲葉を学ぶ 稲葉で学ぶ 稲葉の方から学ぶ(生活科・総合的な学習、各教科)

- 地域の素材を取り入れた地域学習で「ふるさと稲葉」を学ぶ。
- 瀬戸川、稲作り体験、地域探検等、「ふるさと稲葉」で学ぶ。 ⇒「ふるさと学習」で地域とつなぐ。
- 地域の方を招いて稲葉の方から「ふるさと稲葉」を学ぶ。 ↳ 稲葉を大事に。
- 福祉活動で地域の方と交流し、自分を大事に、人を大事にする気持ちを稲葉で育む。

学校経営の基盤

- 特別支援 ○藤枝中学校区UDの見直しと継続。○一人一人の理解に基づいた支援。○保護者との継続的な情報交換。
- チーム稲葉 ○職員間の連携。○関係機関との連携。○地域との連携。○地域を生かしたカリキュラムマネジメント。
- 読書指導 ○「いつも机に一冊の本」を稲葉の文化に。○本好き100の読破数向上。
- 健康・食育 ○継続的な健康教育と食育。

- 本年度の数値目標
- 学校が楽しい…95%(うち「そう思う」65%)
  - 学習していることがわかる…90%(うち「そう思う」50%)
  - ふるさと学習に進んで取り組んでいる…93%
  - 進んであいさつをしている…90%(うち「そう思う」55%)
  - 先生や友達の話の話を聞いている…85%
  - 友達や下級生に優しく接している…90%(うち「そう思う」65%)
  - 進んで読書をしている…70%